

第3章 立地適正化に関する方針

3-1 まちづくりの方針及び誘導方針

第6次東浦町総合計画の『将来の東浦町の姿』及び都市計画マスタープラン『将来都市像』『都市づくりの目標』『将来都市構造』の実現に向け、前章で整理した都市構造上の課題に対応したまちづくりの方針（ねらい）及び誘導方針を整理します。

第6次東浦町総合計画【将来の東浦町の姿】

**つくる つながる ささえあう
幸せと絆を実感できるまち 東浦**

- つ **くるまちへ** 将来の東浦町をつくる意識を共有し、若者や高齢者など、あらゆる方の活躍の場や機会づくりから、新たな挑戦ができるまち
- つ **ながるまちへ** 人と人とのつながりに加え、東浦町にある様々な資源や東浦町と近隣市町のつながりから、東浦町の新たな魅力や新しい活力が生まれるまち
- さ **さえあうまちへ** 東浦町での日々の暮らしや教育、子育てなどのささえあいから、まち全体でささえあい、安心して住み続けられるまち

都市計画マスタープラン

【将来都市像】

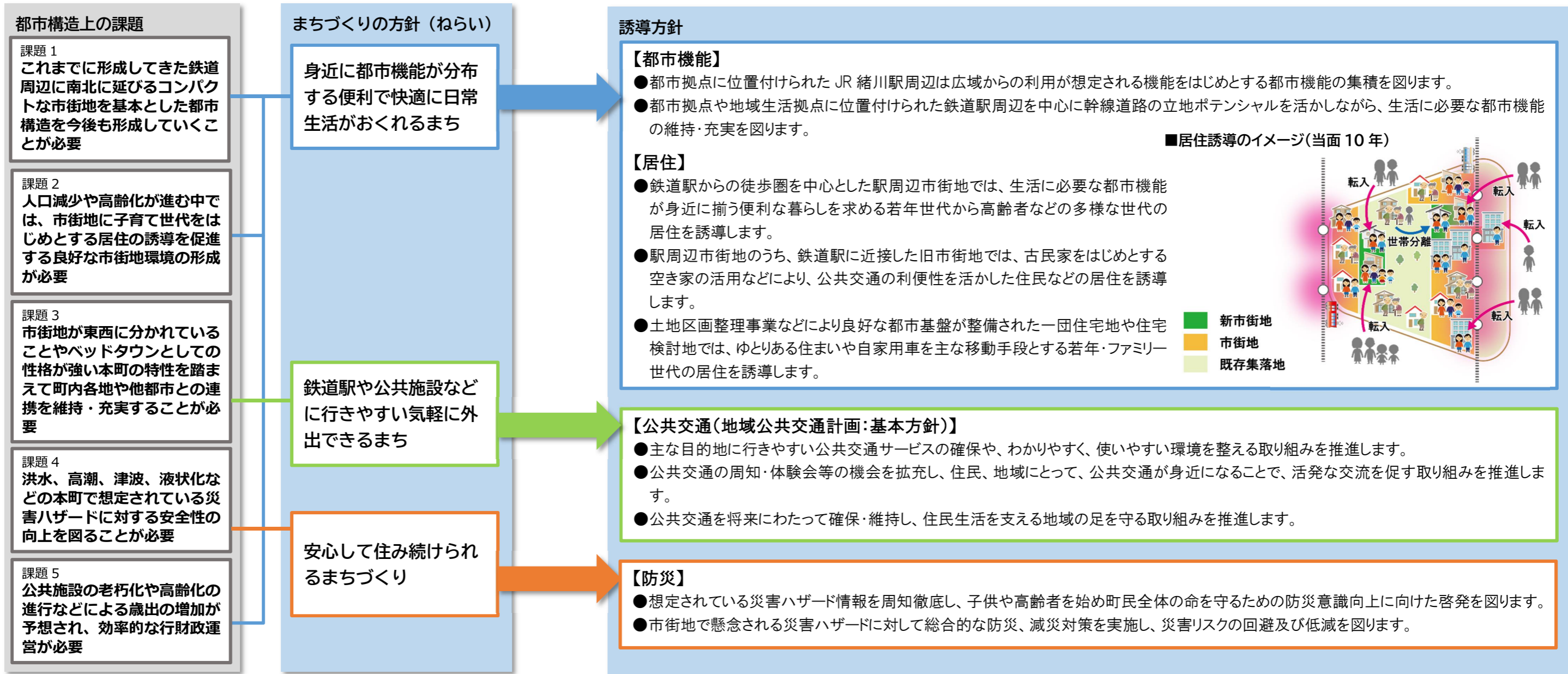
住みたい 住み続けたい
集い 憩い 想う まち ひがしうら

住みたい…町外からの魅力
住み続けたい…町内からの魅力

集い…コンパクトなまちの形成、地域コミュニティの充実
憩い…公園、緑地の整備。景観の維持形成 歩きたくなるまち
想う…ひがしうらを未来につなげる。
(インフラ整備、防災強化、景観の維持形成)

【都市づくりの目標】

- ①多様な連携による集約型都市構造の充実
- ②誰もが住みたいと思う快適な生活環境の維持・形成
- ③誰もが使いやすく快適な交通体系の整備
- ④地域資源を活用した産業の振興
- ⑤自然（緑・水）と共生する生活環境づくり
- ⑥全ての人が安全・安心を感じる地域づくり



※鉄道駅の名称は、JR 武豊線の鉄道駅を「JR〇〇駅」、名鉄河和線の鉄道駅を「名鉄〇〇駅」と表記します。ただし、各種図面については、「JR」「名鉄」を省略します。

3-2 目指すべき都市構造

- 本町における市街地は主に町東部の JR 武豊線沿線と町西部の名鉄河和線沿線にあります。これらの市街地では、人口密度が高い傾向にあり、今後も一定の人口密度が保たれる見込みであり、引き続きこうしたコンパクトな市街地の形成を目指します。
- JR 緒川駅周辺は知多都市計画区域マスタープラン（愛知県）及び本町都市計画マスタープランにおいて都市拠点に位置付けられ、広域から利用客が訪れる大型商業施設や町全体を1施設で対応する公共施設などの広域的な都市機能が集積しており、こうした都市機能の維持・充実を図ることで、町の中心となる拠点形成を目指します。
- 町西部の名鉄河和線沿線をはじめとする市街地から都市拠点に立地する都市機能のサービスを受容できるよう公共交通などによるネットワークを形成することで、町民全体が便利で快適に生活できる都市構造の構築を目指します。
- こうした都市構造の構築にあたっては、町東部で想定される洪水、高潮、津波による浸水をはじめとする災害ハザードの想定を踏まえた災害に強い市街地の形成を目指します。
- さらに、本町都市計画マスタープランにおいて地域生活拠点とともに観光交流拠点に位置付けられた JR 東浦駅周辺については、多くの人々がにぎわい、地域の活力向上に資する都市機能の立地を図ります。

図 目指す都市構造イメージ

